

事務事業名		佐野パパプロジェクト推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					事業区分	担当	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進室
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり						担当組織	担当係	ブランド戦略係	担当課長名	落合 武史
	施策	3 都市ブランド戦略の推進						新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 「佐野ブランド」の確立						実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			
	1304	一般	2	1	7	佐野パパプロジェクト推進事業	任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	28年度～30年度		根拠法令 条例等	実施方法		全面委託				
						事業分類		その他市民に対する事業				
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
行政だけでは気づかないこれから育ちそうな地域の芽を、地元を愛するパパの目により発掘し、この目を民間主体の取組みにより育成することで、これまでとは違った佐野市の魅力を発信する。		10月事業開始 幼稚園、PTA、青年会議所などを訪問して事業の説明をし、セミナーへの参加の呼び掛けを行った。セミナーを3回開催し、平成29年2月にプロジェクトの中心となるコアメンバーを選定し、決定した。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
シティプロモーション関連ホームページ年間アクセス数		回	-	-	-	211,184	400,000

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

「パパ」と呼ばれそうな子育て世代(20~40代)の男性を中心とし、職種や業種を問わず、地元を愛し、地元を何とかしたいと考えている人		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
研修会等回数		件	-	-	-	6	24	
プロジェクト参加者数		人	-	-	-	72	240	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

民間主体の取組みによって新製品を開発・販売することで、これまでと違った視点での情報発信や、新たな販路開拓・観光需要を掘り起こし、地域の雇用増につながることで地域経済の活性化を図る。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
新商品開発(検討)数		件	-	-	-	0	5	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

地域外への情報発信を行うことで、本市のプロモーションにつながり、本市の認知度向上が図れる。また、市内へ活動をPRすることによって、本市への愛着や誇りが醸成され、移住・定住が促進される。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
市区町村の全国認知度ランキング(全国1000市区町村)		位	-	-	-	415	50	
市区町村の全国魅力度ランキング(全国1000市区町村)		位	-	-	-	609	150	
佐野市に住み続けたいと思う市民の割合		%	-	-	-	79.2	86	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円				9,114	10,552	
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円				9,114	10,552	
	事業費計(A)	千円	0	0	0	18,228	21,104	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							委託料	18,228
	人件費	正職員従事人数	人				2	2
	のべ業務時間	時間				250	250	
	人件費計(B)	千円	0	0	0	961	961	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	19,189	22,065	

事務事業名	佐野ババプロジェクト推進事業	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進室	担当係	ブランド戦略係
-------	----------------	-----	-------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	全国的に人口減少問題が提起されている中、国の地方版総合戦略を受け、本市では平成27年12月に「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。その中で、特に地方創生を推進し、人口減少克服に効果のある取組みを図る必要から、先駆的な事業として平成28年10月から取組みを開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	わが国では本格的な人口減少社会が到来しており、今後の少子高齢化、人口減少の進行に向けた対応は、喫緊の課題となっている。こうした状況のなか、地方公共団体が活力を維持するための活動は激しさを増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	行政の目では気づかない、佐野ら一めん、イモフライに続く佐野市を代表できる新産品を開発・発掘し、積極的にPRしていく。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 基本事業に「佐野ブランドの確立」が位置づけられており、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 市民・企業・団体等と連携した体制を構築するためには、市が先導して調整を進めることが必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 行政だけの取組では、シティプロモーションの効果は限定的なものになってしまうため、既存のものにとらわれない新しい発想で、効果的かつ継続的に佐野市の魅力を発信するため、市民・企業・団体等と連携することは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 事業の経過のPRの方法を見直すことより、より効果的になる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 委託契約が主であり、入札、見積もり額により事業費変動するが、事業を効果的に進めるためには、これ以上の抑制は不可能である。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 市民・企業・団体等と連携した体制を構築するためには、市が先導して調整を進めることが必要であり、受益者負担にそぐわない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	事業が順調に拡大し、新産品の販売が順調に拡大した段階で、民間へ引き継ぐことができれば終了できる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	市民・企業・団体等と連携した体制を構築し、民間へ引き継ぐ。																				
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市民・企業・団体等と連携した体制の構築		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			